



2024-25 年度テーマ



第2670地区 宿毛ロータリークラブ会報

- 会長
- 直前会長
- 幹事
- クラブ奉仕委員長
- 職業奉仕委員長
- 社会奉仕委員長
- 国際奉仕委員長
- 会計
- 副幹事
- 理事

- 池 和明
- 岡崎 利久
- 竹田 米廣
- 西岡 弘徳
- 有田 裕彦
- 保田 孝司 (青少年奉仕委員長兼)
- 高瀬 一也 (SAA 兼)
- 田淵 満博
- 秋澤 誠
- 増田 博和

- 例会日：毎週木曜日 12:30～13:30
- 例会場：宿毛市幸町 秋沢ホテル
- 事務所 〒788-0003 高知県宿毛市幸町 6-43
- TEL 0880-63-3416 FAX 0880-63-3417
- URL sukumorc-test.m-quartz.com
- E-Mail sukumorc@mb.gallery.ne.jp

例会報告 第2847回 令和6年10月3日(木曜日) 天気：晴 場所：秋沢ホテル

- 例会司会：高瀬 SAA
- 開会点鐘：池会長
- Rソング：君が代・四つのテスト
- お客様：宿毛商工会議所 専務理事 弘瀬徳宏様
- プログラム：宿毛商工会議所 会館視察

四つのテスト 言行はこれらに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

■会長報告 池会長

みなさんこんにちは、鶴来島の祭りが中止になり、とても残念に思います。来週米山奨学生の合同例会がありますので、よろしく出席お願いいたします。

■幹事報告 秋澤副幹事(代理)

ガバナー事務所より:1 月月信
米山記念奨学会:10 月米山月間資料のご案内
例会終了後理事会開催します。欠席届 9 名

■委員会報告 60周年 有田委員長

尾崎前衆議院議員となつてしまい、欠席、祝電も無くなった。来賓の祝辞を変更、お土産袋を宿毛市から提供をいただける。席の名札 テーブルの名札 秋沢受。当日9時から事前準備をする。タッグを作る、垂れなども作っていく。当日準備 9 時集合、全員集合は 11 時半。弁当は竹葉依頼。

■委員会報告 60周年 記念ゴルフ担当 秋澤

当日の人員配置、引落方法、懇親会などで報告及び協議をした。

■プログラム プログラム委員会 岡崎委員長

クラブ活性化セミナー 米山協議会 岡崎直前会長

皆さん、こんにちは。9月14日に、丸亀市で、クラブ活性化セミナーを9月21日に、高知市で、米山協議会に参加して参りましたので、そのご報告をさせていただきます。まずは、クラブ活性化セミナーについてであります。セミナーでは、3つの内容の話をお聞きしました。

1つ目は、ロータリーの危機管理についてであります。

内容として、

1. 危機管理の難しさとして3点

- ① 危機の防止・・・常識の問題。但し相当の想定力が必要である。
- ② 危機の対応・・・迅速かつ慎重な判断。ロータリーの規定についての正確な理解。
- ③ 対応の失敗・・・財産的損失、RI等のペナルティ

2. 危機管理として

なぜ危機管理なのか？

危機を問われる問題はいつも起きている。

ロータリーには無いというのは幻想である。

皆そのことを知りながら長い間黙認してきた。

しかし、された者の沈黙の時代は終わった。

した者はされた者への適切な対応を迫られている。

された者とした者との認識の違いを埋めること、そして認識の違いを生じさせないことが危機管理の大きな課題である。

3. 危機とは何か？

事故・暴力・自然災害・政情不安・伝染病の発生

ロータリーにおける危機管理問題は、これに留まるものではなく、ハラスメント・会計問題・内部不和・雇用問題など

後、ロータリーと損害保険。

ロータリーと個人情報などの内容の話をお聞きしました。今後、危機管理に

ついて、十分注意して活動をして下さいとの事だと思います。



2つ目は、アクション・プラン 行動計画(方針)

ロータリーのアクション・プランについて学び・行動を起こしましょう！ロータリーの4つの優先事項は、クラブの活動を計画、実践するうえでの基礎となるロータリーの方針であるという理解に基づいています。

4つの優先事項とは、1つ目が、より大きなインパクトをもたらす。

・実証されたデータに基づいてプロジェクトを定義、測定、分析することで、リソースを効果的に使用しながら、有意義かつ持続的な好ましい変化をもたらす。

① インパクトをもたらす奉仕プロジェクトの第一は

「ポリオ根絶」です。

② 地域のニーズ調査を実施する。

③ 奉仕活動の焦点を定める。

④ グローバル補助金または地区補助金を活用する。

⑤ プロジェクトの実施前と実施後に評価を行う。

2つ目が、参加者の基盤を広げる。

・奉仕と変革への情熱を分かちあう新たな参加者をつなぎ、ロータリーを体験する新しい方法を生み出す。

① 地区で新クラブの設立を検討する。

② 説得力のあるストーリーを伝える。

③ 公共イメージの向上

3つ目が、参加者の積極的なかわりを促す。

・ロータリーに入会し、かわりを続ける理由を与えるために、つながりを築き、スキルを身につけ、地域社会に奉仕できる有意義な体験と機会を提供する。

① 人として、また職業人として重要な価値を現会員に提供することに注力する。

- ② ロータリーと関わるすべての人を「参加者」とみなす。
- ③ ラーニングセンターを活用する。

4つ目が、適応力を高める。

・敏速に対応し、地域社会、クラブ、会員の変わりゆくニーズに応えるために、革新的かつ新しい視点を取り入れる。

- ① 地域社会での新しい活動や奉仕プロジェクトのアイデアを募る。
- ② 新しいアイデアを試すため、少額の資金を確保しておく。
- ③ クラブ内の役職、手続き、タスクについて見直す。
- ④ 引継ぐ計画を策定する。

次に、3年間の目標として

3年間のグローバルトライアルを設定し、そのプログラムを実施します。

- 1. 2024年7月1日から、ゾーン、地区、およびクラブに対する3年間の目標とローリングターゲットプランを実施します。
- 2. ロータリークラブセントラルをマルチイヤーターゲットダッシュボード（複数年目標一覧表示）として刷新し、組織的に目標を整えます。
- 3. 上記をサポートするためのリソースと学習プログラムを開発します。
- 4. プログラムの評価を2027年から2028年にかけて行います。

最後に、衛生クラブについてお話がありました。衛生クラブについて「新しいロータリークラブを作りたいけど、十分な数の創立会員がいない」「既存クラブが会員の期待に応えていない」「例会時間の都合が合わない」「社会奉仕に熱心な少人数で新しいクラブを作りたい」このような思いを抱いている方は、衛生クラブの設立を検討ができます。

衛生クラブとは？
衛生クラブは、2013年に、新ロータリークラブ結成に必要な会員数がない場合のオプションとして導入されました。

20人の創立会員を必要とする通常のロータリークラブと異なり、衛生クラブは8人の会員で結成が可能です。

また、既存のロータリークラブとは異なる環境で社会奉仕できるチャンスを地域の人びとやロータリアンに提供します。

衛生クラブは、通常のロータリークラブと同様、例会を開き、細則と理事会を設け、地域社会で奉仕活動を行います。

地元ロータリークラブが衛生クラブのスポンサーとなり、助言や支援を行います。衛生クラブの会員も「ロータリアン」とみなされ、正式にはスポンサークラブの会員となります。

衛生クラブの会員数が20名以上となった場合、衛生クラブのままか、独立したロータリークラブとなるために加入申請を行うかのいずれかを選択できます。

会員数が多くなっても、スポンサークラブとのつながりを維持しながら衛生クラブであり続けることを希望するクラブもあります。会員の希望に応じて、どちらを選択しても構いません。

次に、増強のマジック 高知南 RC 方式から との テーマで高知第1分区ガバナー補佐の加藤氏から話がありました。

会員増強は古くて新しい課題であり、達成の困難な目標と言えます。しかし、有効な方法は必ずどこかに存在するはず。そこで高知南 RC で実施した方式の成功例を検証し、共通する増強のエッセンスを抽出してみました。

1995年から1996年 期末会員数は68名
2023年から2024年 期末会員数は84名 16名増加

2. 桃栗3年柿8年計画

- 創立50周年を増強の種蒔きにする。
 - ・有志の結束・座談会の開催・記念誌に記録する・腰をすえる・ある事務員のエール・結果を信じる・芽が出て実を結ぶ
- 親睦を優先する。
 - ・新しい親睦企画（家族参加のタケノコ狩り・ジョギング同好会）
 - ・従来企画の充実
 - ・ゴルフ同好会
- 明るい例会（退会防止）
 - ・ニコニコ箱の活用

- ・月見例会
- チルドレン誕生（増強の継続）
 - ・校友会（成功例）・士業・青年会議所など・趣味の仲間
 - ・仕事関係・グランドチルドレンへ
- 2670地区が1つのクラブであるという発想はどうだろう

- 3. アンケート調査の実施
- 4. 戦略的記念座談会の内容
 - テーマ：これからのロータリー新たな50年を刻むために
- 5. 記念座談会の効果として
 - 会員増強の定量化の通り、顕著な効果が認められる。
- 6. 増強のマジック
 - ①楽しくないが、楽しいに変わる
 - ②理想の会員数が現実になる
- 7. 具体的手法
 - ①自ら旗振り役になる
 - ②自クラブの定量化を図る
 - ③自クラブの10年先を有志で議論する
 - ④理想とする目標数値を明確にする

次に、米山協議会についてであります。
現在までに、23,000人以上の方に支援をした。
アジア圏の方が多かった。
現在も、全国で900人を支援しているとの事でした。

今回は、4名の米山記念奨学生の卓話をお聞きしました。
一人目は、コウ、ヘイナン さん。 男性。 中国。
高知県立大学 文化学部 4年生。
二人目は、ザンドバキリ、ザハラ さん。 女性。 イラン。
高知大学 黒潮圏総合学科 博士 3年生。
昨年、宿毛にいられた方です。
三人目は、マ フクトウ さん。 男性。 中国。
高知県立大学 文化学部 3年生。
四人目は、グエン ゴック ホン さん。女性。 ベトナム。
高知工科大学 基礎工学 博士 2年生。
今回 10月9日。四万十市にいられる奨学生です。
卓話されたテーマは「日本と知識を征服するという私の夢」
で話をされました。内容は四万十市でお聞きして頂いたらと思います。グエンさんは、ご結婚をされてまして、旦那さんと子供さん二人と一緒に生活をされているそうです。

***** クラブ活性化セミナー 米山協議会 池会長

私の方から話すことはないですが、行動計画の中には3年のアクションプランで継続性を持って、インパクトを持って事業を進めることが大事だということです。レスリング協会に寄付をして、この9月に大会があってそちらを支援するということでしたが、パリ五輪の金メダル2名を招待して大会をやるので、その大会を協賛すると言うことが決まっています。米山奨学生を支援するのはみなさまの浄財を使わないと難しいので是非ともご協力をお願いいたします。

■ニコニコ報告 高瀬 SAA なし

なし

■出席報告 高瀬 SAA

本日の出席率 48%